



2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月13日

上場会社名 セグエグループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3968 URL <https://segue-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 愛須 康之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 福田 泰福

TEL 03-6228-3822

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	7,546	2.3	442	0.9	464	5.6	354	24.0
2019年12月期第3四半期	7,379	11.0	438	12.9	439	13.5	286	7.9

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 317百万円 (1.4%) 2019年12月期第3四半期 321百万円 (185.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	31.13	30.44
2019年12月期第3四半期	24.97	24.42

(注) 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	6,690	2,903	42.9
2019年12月期	6,146	2,786	45.0

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 2,873百万円 2019年12月期 2,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		10.00	10.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,012	14.2	581	6.0	594	7.2	436	6.1	38.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	11,517,035 株	2019年12月期	11,487,200 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	127,536 株	2019年12月期	236 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	11,401,105 株	2019年12月期3Q	11,462,394 株

(注)1. 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、2019年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

2. 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(J-ESOP)」制度の信託財産として株式給付信託が保有する当社株式を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の通商問題、英国のEU離脱等に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続き、2020年4月から5月までの緊急事態宣言による影響も受け、先行き不透明な状況が強まっております。

当社グループの属するIT業界におきましては、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に対応するデジタルシフトが加速するとともに、デジタルトランスフォーメーション等への注目度は高まっております。あらゆる業種・職種でテレワークの普及が加速し、そのセキュリティの重要性も高まっております。政府によりデジタル庁の創設が予定され、これらの動きはさらに加速するものと予想されます。また、文部科学省が掲げるGIGAスクール構想により、全国の学校のネットワーク整備等が進められており、当社グループ取扱いのWi-Fi関連商材も採用されております。しかしながら、経済の減速に伴い、既存システムの維持や重要なセキュリティ対策等に対する投資は継続されるものの、抑制や導入時期の延期等の見直しが懸念されます。

このような環境の中、当社グループは、組織改編を行い中核子会社ジェイズ・コミュニケーション株式会社をビジネスユニット制にし、内部連携の強化と経営の迅速化を図る等、2020年2月に発表した中期数値目標を達成すべく事業基盤の強化に向けた施策の展開を進めております。その結果、保守及びヘルプデスク等のサポートサービスを含むサービスの販売は堅調に推移しております。プロダクトの販売は、ITインフラを主体とした大型システム案件が減少したものの、テレワーク需要に対応した商材の販売が進捗したことにより、前年同四半期と比べ微減となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間におけるソリューションプロダクト事業の売上高は4,088,428千円と前年同四半期と比べ105,654千円(2.5%)の減収となったものの、ソリューションサービス事業の売上高は3,457,971千円と前年同四半期と比べ272,252千円(8.5%)の増収となり、連結売上高は7,546,400千円と前年同四半期と比べ166,598千円(2.3%)の増収と過去最高額を達成しました。

利益につきましても、売上総利益率の改善により売上総利益が前年同四半期を上回り、第3四半期連結累計期間における過去最高額を達成したことにより、中長期の成長に向けた人財や社内環境・システム等への積極的な投資による人件費、一般管理費の増加を吸収し、営業利益は442,363千円と前年同四半期と比べ4,005千円(0.9%)の増益、経常利益は464,028千円となり前年同四半期と比べ24,636千円(5.6%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上し、354,970千円と前年同四半期と比べ68,713千円(24.0%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は6,690,507千円となり、前連結会計年度末に比べて544,199千円の増加となりました。流動資産は5,310,841千円となり、前連結会計年度末に比べて266,571千円の増加となりました。固定資産は1,379,666千円となり、前連結会計年度末に比べて277,628千円の増加となりました。

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、投資有価証券の増加等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は3,786,533千円となり、前連結会計年度末に比べて426,744千円の増加となりました。流動負債は3,518,614千円となり、前連結会計年度末に比べて411,695千円の増加となりました。固定負債は267,918千円となり、前連結会計年度末に比べて15,049千円の増加となりました。

流動負債増加の主な要因は、買掛金および前受金の増加等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、退職給付に係る負債の増加等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は2,903,974千円となり、前連結会計年度末に比べて117,455千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、営業利益以下の各利益が計画以上に進捗しておりますが、先行き不透明な状況が続いており、通期の連結業績予想につきましては、2020年2月13日公表の業績予想を据え置いております。今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,180,682	2,054,938
受取手形及び売掛金	1,205,503	1,496,627
電子記録債権	30,019	44,115
たな卸資産	640,109	689,897
前渡金	583,552	566,851
未収入金	303,458	363,544
その他	101,808	95,584
貸倒引当金	△863	△718
流動資産合計	5,044,270	5,310,841
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,057	74,276
減価償却累計額	△31,519	△34,033
建物及び構築物(純額)	27,537	40,242
車両運搬具	3,076	3,076
減価償却累計額	△2,390	△2,611
車両運搬具(純額)	685	464
工具、器具及び備品	873,837	925,170
減価償却累計額	△719,871	△770,903
工具、器具及び備品(純額)	153,965	154,266
土地	639	639
建設仮勘定	7,500	—
有形固定資産合計	190,328	195,614
無形固定資産		
のれん	116,783	98,130
ソフトウェア	171,848	152,513
ソフトウェア仮勘定	12,056	—
その他	1,209	1,209
無形固定資産合計	301,897	251,853
投資その他の資産		
投資有価証券	335,759	588,440
長期差入保証金	94,472	132,769
繰延税金資産	83,964	107,698
保険積立金	78,157	79,246
破産更生債権等	2,241	1,549
その他	17,290	23,925
貸倒引当金	△2,075	△1,432
投資その他の資産合計	609,810	932,197
固定資産合計	1,102,037	1,379,666
資産合計	6,146,308	6,690,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	508,448	788,264
1年内返済予定の長期借入金	8,028	8,028
未払金	104,963	102,691
未払費用	161,415	147,555
未払法人税等	113,435	113,896
未払消費税等	79,055	102,242
賞与引当金	1,850	75,357
前受金	2,079,163	2,158,817
その他	50,559	21,760
流動負債合計	3,106,919	3,518,614
固定負債		
長期借入金	9,858	3,837
退職給付に係る負債	176,413	197,483
長期末払金	66,598	66,598
固定負債合計	252,869	267,918
負債合計	3,359,789	3,786,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,243	508,765
資本剰余金	279,743	281,265
利益剰余金	1,874,669	2,114,770
自己株式	△213	△100,172
株主資本合計	2,661,442	2,804,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,685	68,730
繰延ヘッジ損益	△71	47
その他の包括利益累計額合計	106,613	68,777
新株予約権	18,463	30,567
純資産合計	2,786,518	2,903,974
負債純資産合計	6,146,308	6,690,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)
売上高	7,379,802	7,546,400
売上原価	5,465,618	5,474,876
売上総利益	1,914,183	2,071,524
販売費及び一般管理費	1,475,825	1,629,160
営業利益	438,358	442,363
営業外収益		
受取利息及び配当金	785	108
為替差益	—	782
保険解約返戻金	7,789	4,695
雇用調整助成金	—	4,485
補助金収入	2,724	8,244
その他	2,379	3,896
営業外収益合計	13,678	22,212
営業外費用		
支払利息	135	97
支払保証料	180	180
為替差損	11,969	—
株式交付費	180	270
その他	180	0
営業外費用合計	12,645	547
経常利益	439,391	464,028
特別利益		
投資有価証券売却益	—	65,850
新株予約権戻入益	209	—
特別利益合計	209	65,850
特別損失		
投資有価証券売却損	1,029	—
式典解約関連費用	—	1,964
特別損失合計	1,029	1,964
税金等調整前四半期純利益	438,572	527,913
法人税、住民税及び事業税	159,376	191,114
法人税等調整額	△7,061	△18,171
法人税等合計	152,314	172,943
四半期純利益	286,257	354,970
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	286,257	354,970

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	286,257	354,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,364	△37,955
繰延ヘッジ損益	857	119
その他の包括利益合計	35,221	△37,835
四半期包括利益	321,478	317,135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,478	317,135
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ITソリューション事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。